

## 横浜国際協力センターへの新たな国際機関の入居について

本市は、地球規模の課題解決を担う国際機関や、本市の国際化に貢献する各国政府の関係機関等を誘致・支援することを通じて、国際社会の平和・発展に寄与するとともに、市民の国際理解の促進、本市の対外的な知名度向上を目指しています。

このたび、国際連合の専門機関の一つである**国際農業開発基金**（略称 <sup>イファッド</sup> I F A D 本部：イタリア・ローマ）と、日本における活動拠点を横浜国際協力センターに構えることについて、令和3（2021）年3月15日に、覚書を締結しましたので、報告いたします。

新たな国際機関の入居は、国連の関係機関としては、平成9（1997）年のF A O（国際連合食糧農業機関）駐日連絡事務所開設以来、24年ぶりとなります。

### 1 I F A Dについて

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 正式名称     | International Fund for Agricultural Development                 |
| (2) 日本における名称 | 国際農業開発基金  |
| (3) 設立       | 1977年   |
| (4) 加盟国数     | 177か国(2021年2月現在)  |
| (5) 総裁       | GILBERT F. HOUNGBO<br>ジルベール・ウングボ<br>(元トゴ首相、元ILO事務局次長)           |
| (6) 本部       | イタリア・ローマ  |
| (7) 活動目的     | 農村地帯の貧しい人々が食料と栄養の安全保障を改善し、所得を増やし経済的な強靱力を強化できるようにするための活動資金の調達・融資 |



### 2 覚書の主な内容について

- |             |  |
|-------------|--|
| (1) 覚書名     | 横浜市における I F A D 日本事務所の設立・入居に関する覚書  |
| (2) 覚書の締結日  | 令和3（2021）年3月15日  |
| (3) 覚書の目的   | ・横浜市における国際交流と国際理解の推進<br>・ I F A D の日本における活動の支援（横浜市）<br>・横浜市が実施する国際交流及び国際協力活動の支援（ I F A D ） |
| (4) 本市の支援内容 | 事務所スペース（200㎡）の提供、事務所共益費等   |
| (5) 入居スペース  | 横浜市西区みなとみらい1-1-1横浜国際協力センター6階<br>(4月からオフィス環境の整備を行い、業務開始は5月以降を予定。)                           |

### 3 横浜国際協力センター入居により、期待される効果について

#### (1) IFADにとっての効果

同じく食料問題に取り組む国際機関であるWFP（国連世界食糧計画）及びFAOとの密接な連携による食料支援の促進

#### (2) 本市にとっての効果

本市の国際的知名度の一層の向上及び次世代育成を中心に市民の国際協力への理解促進

#### 【参考】

- WFP日本事務所：平成8（1996）年10月開設、本部：イタリア・ローマ  
主な本市との連携事業：WFPウォーク・ザ・ワールド（国際局）
- FAO駐日連絡事務所：平成9（1997）年10月開設、本部：イタリア・ローマ  
主な本市との連携事業：「世界食料デー」月間（資源循環局）

### 4 覚書調印式の様子



左：赤岡局長 右：Guoqi Wu 副総裁補



調印の様子

#### [参考1 横浜国際協力センターについて]

##### (1) 概要

地球規模の課題解決を担う国際機関や、本市の国際化に貢献する各国政府の関係機関等の活動を支援することを通じて、世界の平和・発展への貢献や市民の国際理解の促進を図るため、これらの機関を誘致する施設として平成3（1991）年に開設しました。

##### (2) 入居機関

名称	市内開設/現在地移転
国際熱帯木材機関（ITTO）本部	S61(1986)年/ H3(1991)年*
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	S62(1987)年/ H3(1991)年*
国連世界食糧計画（WFP）日本事務所	H8(1996)年
国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所	H9(1997)年
シティネット横浜プロジェクトオフィス（CYO）	H25(2013)年
（一社）YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE（YUSA）	H29(2017)年

\*…平成3（1991）年の横浜国際協力センター開設時に移転

※上記6機関のほか、（公財）横浜市国際交流協会が入居

[参考2 IFADの活動の様子]  
 (「IFADの概要」2018年3月より引用)



[参考3 IFADが資金提供をしたプロジェクトの例]  
 (IFADホームページ「IFAD Image Bank」より引用)



灌漑用水管理ダム建設プロジェクト  
 (ギニアビサウ 2020年)



気候変動に対応した植林プロジェクト  
 (バングラデシュ 2011～2017年)